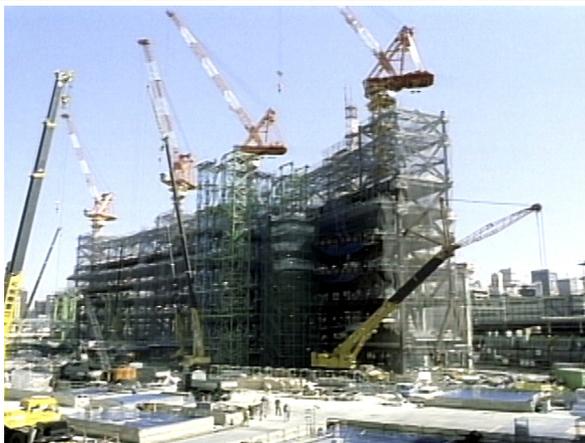


巨大アトリウムを創る | 東京国際フォーラムガラス棟

1996
作品ナンバー0485

東京国際フォーラムには、今までに例をみない巨大なアトリウム（空間）を持つガラスホールが建設された。この膨大なガラス面を持った建造物がどのような構造と技術で出来上っていくのかを解説する。



新時代に向かう東京の新しいシンボルとして、総合文化施設「東京国際フォーラム」が旧都庁跡地に完成した。そしてここに、今までに例をみない巨大なアトリウムをもったガラスホールが創られた。

東京国際フォーラムは、4つのホールからなる「ホール棟」と、多目的ギャラリーとして利用される世界最大のアトリウム空間「ガラス棟」から構成される。特に、この膨大なガラス面をもったガラス棟は、建物の美しさに加え、その安全性がより強く要求される。このような建造物がどのような構造と技術で出来上がっていったのか。安全性を求めて様々な解析や実証実験が行われ、工事が進められていく様子を紹介しながら、ガラス棟の特徴と建設技術とをわかりやすく解説する。

記録
ビデオ
カラー／25分
日・英語版

■企画
東京国際フォーラム
ガラス棟建設共同企業体

スタッフ
■製作
村山英世
■脚本・演出
山田和広
■撮影
山屋恵司
■照明
水村富雄
■選曲
徳永由紀子
■解説
杉本るみ